

金沢市行政経営プランの取組状況等について

1. 金沢市行政経営プランの概要

(1) 基本理念

質の高い市民サービスを創り続ける行政経営の実践

(2) 推進期間

令和5年度～令和8年度（4年間）

(3) 基本方針

- 1 行政組織の質を高める(ヒトの育成と情報発信の強化)
- 2 共創の質を高める（ヒトとの連携の推進）
- 3 財政基盤の質を高める（モノ・カネの有効活用）

2. 取組事項の達成率

達成率 87.1% (実施計画 124 項目中 108 項目が達成済)

基本方針	項目数(A)	達成(B)	達成率(B/A)
1 行政組織の質を高める	39 項目	38 項目	97.4%
2 共創の質を高める	45 項目	38 項目	84.4%
3 財政基盤の質を高める	40 項目※	32 項目	80.0%
合計	124 項目	108 項目	87.1%

※うち 2 項目は数値未確定

3. 令和6年度に実施した主な取組事項

方針
1

行政組織の質を高める（ヒトの育成と情報発信の強化）

（1）働き方のDXと機能的な組織運営

- 公用車給油事務へのクレジットカードの導入 [P38, №.R6-7]

公用車への給油時に用いていた伝票を廃止し、クレジットカード払いを導入したことにより、事業者の請求処理と市の支払処理の双方で事務負担の軽減を図りました。

（2）行政データの活用と伝わる情報発信

- デジタル通学路マップの活用推進 [P48, №.R6-10]

通学路図及び通学区域図をデジタル化し、市オープンデータポータルサイトでの提供を開始しました。

（3）職員の意識改革と人材の確保

- 採用情報の効果的な発信（インタラクティブ動画の活用） [P56, №.R6-13]

公務に興味関心を寄せる若年層向けに、タップ・クリックに合わせた「情報表示」や「ストーリーフラッシュ」ができる仕掛けを組み込んだインタラクティブ動画を作成し、公開しました。

2 共創の質を高める（ヒトとの連携の推進）

（1）多様な主体との協働の推進

- ・ 学生等と連携した交流イベント等を開催する商店街に対して支援を拡充 [P65, №.R6-19]

学生団体と連携し、商店街団体と地域住民との交流促進等を目的とするイベントを17件開催しました。

（2）民間の創意工夫を活用する官民連携の推進

- ・ 官民連携によるリノベーションまちづくりの推進 [P74, №.R6-20]

事業対象エリアの不動産調査結果を踏まえ、官民連携のワークショップにより、多様な空間の活用によるエリアの価値向上を図るためのビジョン案（エリアの将来像）を作成しました。

（3）自治体間における広域連携の推進

- ・ 白山野々市広域消防本部との消防指令センターの共同運用拡大に向けた協議に着手 [P81, №.R6-26]

石川中央都市圏域消防指令業務共同運用推進協議会を設置し、推進協議会及び検討部会で協議を重ね、令和9年度中に消防指令センターの共同運用を開始する方針としました。

3 財政基盤の質を高める（モノ・カネの有効活用）

（1）公共施設の保有量の適正化と施設環境の充実

- ・ 南部地区における教育・福祉施設の再整備 [P91, №.R6-30]

三馬小学校、三馬保育所、教育プラザ富樫など、南部地区における教育・福祉施設の再整備の方向性を検討し、基本構想を策定しました。

（2）効果的な政策立案と歳入の確保

- ・ 企業版ふるさと納税額【数値目標】[P103, №.R6-33]

7月にサイトを開設し企業版ふるさと納税を促進しましたが、ポータルサイトを通じた寄附はなく、能登半島地震の被災地に寄附が集まっている現状を踏まえ、今後は、サイトを通じた寄附に関わらず寄附額を確保することとしました。

（3）特別会計の整理合理化と経営基盤の強化

- ・ 金沢市企業局経営戦略の改定 [P106, №.R6-34]

令和6年能登半島地震や水需要の減少等による事業環境の変化に的確に対応するため、金沢市企業局経営戦略2022を改定しました。

4. 令和7年度に追加した主な取組事項

方針

1 行政組織の質を高める（ヒトの育成と情報発信の強化）

（1）働き方のDXと機能的な組織運営

- ・ 避難所の入退所等に活用できるデジタル市民パスポートの導入 [P38, №.R7-1]

スマートフォンアプリ「デジタル市民パスポート」を利用してスムーズな避難所受付・管理を実現します。また、施設受付など平時でも利用できる機能も拡充します。

（2）行政データの活用と伝わる情報発信

- ・ 災害情報一斉配信システムの導入 [P51, №.R7-10]

災害時における避難情報等を本市公式X（旧Twitter）やフェイスブック、LINEなどに一斉に配信するシステムを導入します。

（3）職員の意識改革と人材の確保

- ・ DXアドバイザー職員の育成【数値目標】 [P54, №.R7-11]

デジタル人材の各階層や組織を繋ぎ、全体のDXを支援するために、デジタル行政推進リーダーの活動を専門的・庁内横断的に支援するDXアドバイザー職員を育成し、高度な技術知識に基づく指導・助言を行うことで組織へのフィードバックを図ります。

2 共創の質を高める（ヒトとの連携の推進）

（1）多様な主体との協働の推進

- ・ 国内外からの来訪者に対応する学生ナビゲーターの配置 [P66, №.R7-14]

インバウンドをはじめ増加する国内外からの来街者に対し、金沢駅兼六園口において、金沢ショッピングバスへの案内に加え中心商店街のショッピング・グルメ情報やタイムリーなイベント情報等を総合的に提供するため、学生ナビゲーターを配置し、まちなかへの集客促進と賑わい創出を図ります。

（2）民間の創意工夫を活用する官民連携の推進

- ・ 「木の文化都市・金沢」専用サイトの創設 [P78, №.R7-18]

木の文化に関する情報を一元化、見える化するとともに、不断の拡充を図ることで、木の文化の更なる推進に向けた市民や事業者の新たな参画と連携を加速化させるためのツールとして活用を図ります。

（3）自治体間における広域連携の推進

- ・ 「第3期石川中央都市圏ビジョン」の策定 [P82, №.R7-19]

連携中枢都市が、圏域の中長期的な将来像や、連携協約に基づく具体的な取組について、近隣市町及び、産学官民の関係者を構成員とした「石川中央都市圏ビジョン懇談会」における協議を経て、「第3期石川中央都市圏ビジョン」を策定します。

3 財政基盤の質を高める（モノ・カネの有効活用）

（1）公共施設の保有量の適正化と施設環境の充実

- ・ **市民芸術村の継承に向けた施設リニューアルの実施 [P93, №.R7-23]**

開村から約30年、建築当初から概ね100年を迎える金沢市民芸術村の機能の維持や施設の長寿命化に加え、今日の社会環境において求められる機能及び担うべき役割等を踏まえ、施設のリニューアルを実施します。

（2）効果的な政策立案と歳入の確保

- ・ **ふるさと納税を活用した大学寄附金制度の創設 [P103, №.R7-25]**

連携協定を締結する市内5大学と金沢美術工芸大学を対象に、ふるさと納税を活用した大学寄附金制度を創設し、関係人口の創出・拡大と文化を担う人づくりを推進します。

（3）特別会計の整理合理化と経営基盤の強化

- ・ **企業局の経営効率化の推進 [P107, №.R7-27]**

企業局における厳しい事業環境を見据えて、事業を健全な状態で次世代へ継承するため、さらなる経営効率化策を検討し、推進します。